

# 第40回

# うつのみやこども賞だより

## 令和5年度 2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

### 『忘れもの遊園地』

久米 絵美里／著 (アリス館)

### ～読んだ本の感想より～



令和5年7月2日

- トラタとレミの過去やブライミングの正体などが明かされていき、本のページをめくる手が止まらなかった。
- とても考えさせられる本だと思った。記憶のことがいろいろ書かれていて、記憶はとてもこわいと思った。
- レミちゃんやレミちゃんのお母さんが最後に、忘れていい記憶などなく、何よりも大切だということに気付いた場面が感動しました。
- 園長さんが自分を忘れさせようとしたことにびっくりした。
- 忘れもの遊園地の園長があやしいと、レミとトラタが気付いた時は、ハラハラした。
- 記憶についてが少し難しかった。レミとトラタ、レミとお母さんの関係が良くなってうれしい！！
- 最初、園長さんはレミたちの記憶を忘れさせようとしてはらはらしましたが、最後はみんなと一緒に帰っていて良かったなと思いました。

### 『やくやもしおの百人一首』久保田 香里／作 (くもん出版)

- 百人一首からとびだして人間になり、平安時代にタイムスリップするという設定がおもしろかったです。
- 最後、為氏が、もしおのために時をこえて来たのはすごかった。もう戻れないかもしれないのに来て、勇気がすごいと思った。
- 一生けん命「あの人」を探す「やくやもの」に、がんばってと思わせてくれるような作品だった。
- 私も、こんな旅をしてみたいと思いました。「こぬ人をは」を見つけた時は、びっくりしました。
- やくやもしおが為氏と一緒に定家さんの時代に戻った時、とてもほっとした。

### 『クイズ研究会チームスリー』まはら 三桃／作 (金の星社)

- チームスリーの得意を生かしてクイズに取り組んでいたりと、チームでそれじゃなくてこれじゃないと考えていて、チームワークがあっという間と思いました。
- チームエコルとチームスリーが仲良く練習していたので、どちらが勝つのかドキドキしました。
- 最後は負けてしまったけど、牙は友達と仲直りできて良かったし、弱点を克服しながら戦っていて、とてもおもしろかった。
- チームエコルとの対決には負けてしまったけれど、前向きな牙たちがカッコいいと思った。

### 『奉還町ラブソディ』村中 李衣／作 (BL出版)

- 楽しいお話がたくさんあって、読み始めたら止まらなくなりました。特に好きな話は、みつさんとミツマメと散歩に行くお話です。友達にすすめたいなと思いました。
- 奉還町の商店街には、お年寄りがたくさんいるけれど、楽しそうな町だと思いました。
- 「いのうえさん、たたかう」の時に、いのうえさんが野犬とたたかっていたので、年を取っておられるのに、すごいなと思いました。いのうえさんはとてもたのもしい存在だと感じました。
- 町のいろいろな人との関わりがおもしろかった。